

参加者へのお知らせとお願い

■研究会参加者の皆様へ

1. シンポジウム、一般演題、経過報告、共催セミナーは、オンライン開催（ライブ）にて実施します。本オンライン開催は、Web 会議システム Zoom ミーティングを利用します。
それらの映像については、その後2週間オンデマンド配信いたします。ただし、演者よりオンデマンド配信不可との連絡があった講演についてはオンライン（ライブ）のみとなります。
2. 参加登録費（抄録集、発表論文集代を含む）
正会員（施設会員代表者含む） 7,000 円
その他 10,000 円
学生 無料
学生の方は、お名前を記載の上、学生証の写しを運営事務局（37hpm@cop-chita.com）まで E-mail にてご送付ください。
3. 参加登録手続
参加登録は、研究会ホームページからのオンライン登録のみとなります。ホームページのサイドメニュー『参加登録』ページから手続きをお願いします。
4. お支払方法
支払方法はクレジットカードのみとなります。
参加登録後に自動配信されます「件名：【重要：要保存】第37回日本ハイパフォーマンス・メンブレン研究会《事前参加受付及びお支払いのご案内》」に沿って速やかに決済をお願いします。
VISA、MasterCard、AMEX のカードが取り扱い可能です。
5. 参加登録の変更・取り消し・返金について
一旦お支払い頂いた参加費については返金する事が出来ません。
事前参加登録内容（ご住所、ご所属、連絡先等）に変更がある場合は、参加登録後に自動配信されます「件名：【重要：要保存】第37回日本ハイパフォーマンス・メンブレン研究会《事前参加受付及びお支払いのご案内》」にあります。登録情報の変更画面より手続きをお願いします。
6. 注意事項
参加登録後、決済完了時に自動配信されるメールが、一部のフリーアドレスにおきまして、迷惑メールに振り分けられているか、ご利用のメールサーバーの機能により、返信メールが届かない場合がございます。（yahoo、hotmail、gmail の一部）その場合は個別対応にて送付させていただきますので、参加登録窓口（37hpm@cop-chita.com）までご連絡下さい。
7. 領収書及び参加証明書
WEB 会場専用ページよりダウンロードいただけます。

■会場内でのお願い

1. Zoom ミーティングルームに入りましたら「スピーカ & マイクをテストする」から、音声聞こえるか、自分の声が聞こえているか、接続状態を確認してください。
2. Zoom 内での「名前」の表示を、「お名前_ご所属」に変更してください。
例) 水口潤_川島病院
本研究会は参加費をお支払いされた方のみにご参加いただくもので、お名前、ご所属の確認が取れない場合はご参加をお断りさせていただきます。ご協力の程よろしくお願いいたします。
3. ご質問等がある場合は、ビデオ（カメラ）及びマイクを ON にして、座長にお伝えください。座長より指名さ

れてからご質問ください。最初に所属と氏名を明らかにしてください。

- 講演中は音声が入らないよう、音声はミュートに設定してください。

■ブレイクアウトセッション

各セッション終了後、ブレイクアウトルームをご用意いたします。

■単位取得

本研究会参加により、下記の単位を取得できます。

日本透析医学会専門医

本研究会参加証で3単位の取得を申請できます。専用の受講票は必要ありません。

■座長・演者の方へ

●接続環境の準備

以下のものをご用意ください

1. 端末

インターネット接続が可能なPC

2. ネットワーク

安定したWiFi回線若しくは有線による接続が望ましいです。それほど高速でなくても問題ありませんが、途中で切れない回線が望ましいです。WiFiの場合は電波強度の大きいところで接続ください。

3. スピーカ（聞く）

PCに備え付けのスピーカ、もしくは、ヘッドセット、イヤホン、外部接続スピーカ（マイク兼用のもの）。

同じ部屋で2台のPCをZoomに接続すると、ハウリングが起こることがあります。ハウリングが起こった場合には、必ずマイクをミュートにしてご参加ください。

4. マイク（話す）

PCに備え付けのマイク、ヘッドセット、マイク付きイヤホン、外部接続マイク（スピーカ兼用のもの）。

PCに備え付けのものでも通常問題ありませんが、ヘッドセットやマイクを使用するとより音声クリアに伝わります。

5. カメラ

パソコン内蔵カメラ、WEBカメラなど。

■座長の先生方へ

1. 担当セッションの開始20分前までに、WEB会場（専用ページ）内の『座長・演者用テスト用回線』にご入室ください。ここでマイク・スピーカ、カメラチェック、打ち合わせを行います。

チェックが終了しましたら退出いただき、担当セッション10分前に『ライブ配信会場』へ入室ください。

2. Zoom内での「名前」の表示を、「お名前_ご所属」に変更してください。

（例）水口潤_川島病院

3. 進行は時間厳守でお願いいたします。トラブルがあった場合は臨機応変にご対応くださいますようお願いいたします。

■演者の方へ

1. 発表時間

一般演題：口演 7 分 討論 3 分（前回優秀演題：口演 12 分 討論 3 分）

シンポジウム：発表 15 分

2. 発表について

- ・ Zoom を使った双方向でのオンライン（ライブ）でのご発表をお願いします。あらかじめ録音したスライドや動画をご提出いただく必要はありません。ただ、どうしても通信環境が不安定で、接続が心配な方は音声付きの動画をお送りいただければ、運営側でそれを配信することも可能ですのでご相談ください。
- ・ 利益相反（COI）についての情報開示をお願いいたします。発表の最初か最後に利益相反自己申告に関するスライドを加えてください。

3. 発表方法

- ・ Zoom にてご自身の PC の画面を共有してご発表いただきます。座長より指示がありましたら、画面共有して、発表を始めてください。画面共有の際には、使用するプレゼンテーション作成ソフトをあらかじめ立ち上げておく必要があります。
- ・ 発表終了後は、次の発表者が共有できるように、画面共有を解除してください。
- ・ PC1 台で発表される場合、PowerPoint の発表者ツール機能を使用すると、発表者ビュー（メモ）側が送信されてしまいます。発表者ツール機能はオフにしてご発表ください。PC1 台で発表される場合はスライドショーではなく、閲覧での表示もお勧めです。
PC2 台で 2 画面を使用して発表される場合は、発表者ツール機能の使用が可能ですが、共有する画面の設定にご注意ください。（Desktop2（発表画面が映される側）を共有画面にして設定してください。

■発表データ作成方法

1. Microsoft PowerPoint、画面サイズは 16：9 を推奨します。

2. 動画データも使用可能です。その際、動画音声を使用する場合は、「コンピュータの音声を共有」をチェックしてご使用ください。

ただし、お使いの PC のスペックや通信速度によっては、動画がスムーズに流れない可能性があります。

■発表準備（セッション開始前）

1. 担当セッションの開始 20 分前までに、WEB 会場（専用ページ）内の『座長・演者用テスト用回線』にご入室ください。

ここでマイク・スピーカー、カメラ、発表データの動作チェックを行います。

チェックが終了しましたら退出いただき、担当セッション 10 分前に『ライブ配信会場』へ入室ください。

2. Zoom 内での「名前」の表示を、「お名前_ご所属」に変更してください。

例) 水口潤_川島病院

■セッション発表後

各セッション終了後、ブレイクアウトルーム（別部屋）で個別質問や総合討論の時間を取ります。スタッフが Zoom のブレイクアウトルームに案内しますので、そちらでお話してください。

■発表論文提出について

- ・発表論文（掲載用論文）は「腎と透析」（東京医学社）の投稿規定に即して作成し、後日、印刷した原稿とともにCD-R またはUSB 電子媒体を日本ハイパフォーマンス・メンブレン研究会事務局（徳島市）宛て郵送にてご提出ください。（大会事務局とお間違えない様お願いいたします）
- ・掲載漏れなど防ぐために、事務局以外（東京医学社）では一切受付できませんので、ご了承ください。
- ・提出期限は研究会開催年の4月末日といたします。
- ・研究会開催後に事務局より再度発表者様に上記内容「発表論文提出について」をメールにて案内いたしますので、ご確認ください。
- ・4月末日までに提出がない発表者様に対しては事務局より確認のメールを送信いたします。ただし、確認のみの案内であり、提出期限の延長などは一切認められません。
- ・郵送物（原稿とCD-R またはUSB 電子媒体）に不足がある場合はメールにて連絡いたします。再提出していただければ受理できませんので、ご了承ください。
- ・受理しました掲載用論文は発表者様へメール通知を行った後、事務局より東京医学社へお渡しし、校正などの取扱いについての責任を譲渡いたします。

役員一覽

名誉理事長

斎藤 明 (湘南東部総合病院)

理事長

水口 潤 (川島病院)

副理事長

川西 秀樹 (土谷総合病院)

(以下 50 音順)

理 事

武本 佳昭 (大阪市立大学)

友 雅司 (大分大学)

花房 規男 (東京女子医科大学)

深澤 瑞也 (山梨大学)

山下 明泰 (法政大学)

監 事

衣笠 えり子 (昭和大学横浜市北部病院)

峰島 三千男 (順天堂大学)

顧 問

秋澤 忠男

秋葉 隆

酒井 清孝

佐中 孜

鈴木 正司

内藤 秀宗

大会運営事務局

〒 456-0058 名古屋市熱田区六番 3-5-3 S-FORT 六番町 204

TEL : 052-265-9997 FAX : 052-308-5229

E-mail : 37hpm@cop-chita.com

事務局

〒 770-0011 徳島県徳島市北佐古 1 番町 6-1

社会医療法人 川島会 川島病院内

日本ハイパフォーマンス・メンブレン研究会

TEL : 088-631-1755 FAX : 050-3730-3065

URL : <http://www.hpm-net.jp> Email : information@hpm-net.jp

プログラム

3月19日(土)

10:10～10:20	開会の辞
10:20～10:50	基礎研究
10:50～11:40	膜の性能評価
11:50～12:50	共催セミナー
13:00～13:20	通常総会
13:20～14:00	共同研究経過報告 - HDコホート研究 -
14:10～15:35	シンポジウム
15:45～16:15	HDF
16:15～16:35	臨床評価
16:35～17:20	前回優秀演題
17:20～17:30	閉会の辞

10:10 ~ 10:20 開会の辞

理事長：水口 潤（川島病院）

10:20 ~ 10:50 基礎研究

座長：峰島 三千男（順天堂大学）

須賀田 徹（東レ・メディカル株式会社）

O-01. 両腎摘出ブタを用いた新規血液透析濾過器「ヴィエラ V-RA」の性能評価

旭化成メディカル株式会社 研究・事業開発本部¹⁾

宮崎大学 医学部血液・血管先端医療学講座²⁾

宮崎大学 農学部附属動物病院研究室³⁾

○梅野 寛¹⁾ 佐野 裕介¹⁾ 清水 瞳¹⁾ 渡邊 厚¹⁾ 小泉 智徳¹⁾ 山本 集士^{2,3)} 藤元 昭一²⁾

O-02. 膜のマクロな物理構造がアルブミンの濾過特性に及ぼす影響

法政大学大学院 理工学研究科 応用化学専攻¹⁾

ニプロ株式会社²⁾

○峠 太地¹⁾ 木口 崇彦¹⁾ 山口 悟²⁾ 春原 隆司²⁾ 山下 明泰¹⁾

O-03. リコンビナント α 1ミクログロブリン試薬の開発

ニプロ株式会社 企画開発技術事業部 国内商品開発・技術営業本部¹⁾

ニプロ株式会社 企画開発技術事業部 酵素センター²⁾

ニプロ株式会社 企画開発技術事業部³⁾

○春原 隆司¹⁾ 山口 悟¹⁾ 戸部 隆太²⁾ 木村 隆²⁾ 増田 利明³⁾

10:50 ~ 11:40 膜の性能評価

座長：吉川 和寛（岩手医科大学）

春原 隆司（ニプロ株式会社）

O-04. ビタミンE固定化ヘモダイアフィルタ「ヴィエラ V-RA」の *in vitro* 性能

旭化成メディカル MT 株式会社

○西澤 一樹

O-05. ポリフラックスHの臨床除去特性

医療法人 一陽会クリニック 血液浄化部¹⁾

医療法人 一陽会クリニック 看護部²⁾

医療法人 一陽会クリニック 医局³⁾

医療法人 原田病院 血液浄化部⁴⁾

○吉崎 博行¹⁾ 榎谷 佳祐¹⁾ 末広 啓太¹⁾ 中原 雅史¹⁾ 中村 健一¹⁾ 山形 智子²⁾ 稲本 健司¹⁾
手島 和子²⁾ 本丸 忠生⁴⁾ 碓井 公治³⁾ 加藤 曜子³⁾

O-06. フィルトライザー HDF の性能評価

釧路泌尿器科クリニック

○大澤 貞利 山本 英博 伊藤 正峰 佐野 洋 村雲 雅志 久島 貞一

O-07. ビタミンE 固定化膜を用いたヘモダイアフィルタ V-22RA の臨床評価

釧路泌尿器科クリニック

○大澤 貞利 山本 英博 伊藤 正峰 佐野 洋 村雲 雅志 久島 貞一

O-08. PMMA 素材の HDF 膜 PMF-21A の希釈法の違いによる性能の変化

医療法人社団 平生会 宮本クリニック¹⁾

明石市立市民病院²⁾

○重松 武史¹⁾ 中村 拓生²⁾ 宮本 幹¹⁾ 西庵 良彦¹⁾ 宮本 孝¹⁾

11:40 ~ 11:50 休憩

11:50 ~ 12:50 共催セミナー

座長：斎藤 明（湘南東部総合病院）

講演1. $\alpha 1$ ミクログロブリンの生理機能

講師：友 雅司（大分大学医学部附属臨床医工学センター）

講演2. 透析患者の予後を考慮した $\alpha 1$ ミクログロブリン除去量増大の意義

講師：櫻井 健治（橋本クリニック）

共催：ニプロ株式会社

12:50 ~ 13:00 休憩

13:00 ~ 13:20 通常総会

13:20 ~ 14:00 共同研究経過報告

座長：武本 佳昭（大阪市立大学医学部）

HDコホート研究“JAMREDS-Study”の進捗状況報告

講師：長沼 俊秀（大阪市立大学医学部）

14:00 ~ 14:10 休憩

14:10 ~ 15:35 シンポジウム

座長：友 雅司（大分大学医学部）

山下 明泰（法政大学生命科学部）

SY-01. 新しいダイアライザ・ダイアフィルタに期待される性能（PMMA・吸着）

東レ株式会社 先端材料研究所

○上野 良之

SY-02. 新しいダイアライザ・ダイアフィルタに期待される性能

旭化成メディカル株式会社 透析マーケティング部

○是本 昌英

SY-03. ATA 膜の材質と表面特性を反映した生体適合性

ニプロ株式会社 企画開発技術事業部 国内商品開発・技術営業本部

○春原 隆司

SY-04. 最近の人工腎臓用血液浄化膜の趨勢：国内外の事情

法政大学 生命科学部

○山下 明泰

総合討論

15:35 ~ 15:45 休憩

15:45 ~ 16:15 HDF

座長：小川 智也（埼玉医科大学）

是本 昌英（旭化成メディカル株式会社）

O-09. 東レ社製 フィルトライザー PMF-21A の使用経験

医療法人社団クレド さとうクリニック

○内海 展子 宮川 悠斗 伊藤 あづみ 鈴木 貴大 佐久間 宏治 石塚 俊治 佐藤 純彦

O-10. 後希釈 on-line HDF における溶質除去能向上条件の検討

特定医療法人あかね会 中島土谷クリニック

○西田 英樹 森石 みさき 泉 将司 高 義尚 谷川 智彦 真島 菜々子 土谷 晋一郎

O-11. ヘモダイアフィルタ NVF の使用経験 ～生体適合性を中心とした 2 年間の後向き評価～

特医) あかね会 中島土谷クリニック¹⁾

特医) あかね会 土谷総合病院²⁾

○高 義尚¹⁾ 森石 みさき¹⁾ 西田 英樹¹⁾ 長岡 剛史¹⁾ 谷川 智彦¹⁾ 真島 菜々子¹⁾ 川西 秀樹²⁾
土谷 晋一郎²⁾

16:15 ~ 16:35 臨床評価

座長：富沢 成美（日機装株式会社）

O-12. ビタミンE 固定化ヘモダイアフィルター「V-22RA」の臨床評価

医療法人社団三思会 東邦病院 診療協力部 臨床工学科¹⁾

医療法人社団三思会 東邦病院 腎臓透析センター²⁾

○松村 昌樹¹⁾ 宮村 竜也¹⁾ 大澤 佑介¹⁾ 坂田 賢一¹⁾ 松本 理恵¹⁾ 吉田 弘明²⁾ 小林 さつき²⁾
松本 孝之²⁾ 植木 嘉衛²⁾

O-13. HD とオンライン HDF におけるアルブミンリークと生命予後について

社会医療法人川島会 川島病院

○岡田 一義 道脇 宏行 田代 学 井上 朋子 島 久登 水口 潤

16:35 ~ 17:20 前回優秀演題

座長：花房 規男（東京女子医科大学）

中川 宣明（株式会社ジェイ・エム・エス）

O-14. 逆濾過方式の I-HDF 療法における間歇的な逆濾過が及ぼす膜の洗浄効果

法政大学大学院 理工学研究科応用化学専攻¹⁾

法政大学 生命科学部環境応用化学科²⁾

○渡辺 誠也¹⁾ 木口 崇彦²⁾ 山下 明泰²⁾

O-15. ニューラルネットワーク (NN) 機械学習による HDF 治療の大分子除去率予測の試み

医療法人社団みやぎ清耀会 緑の里クリニック 透析技士部¹⁾

医療法人社団みやぎ清耀会 緑の里クリニック 内科²⁾

東北医科薬科大学病院 総合診療科³⁾

一般社団法人 クラインシュタイン医工学パースペクティブ (KBEP)⁴⁾

社会医療法人川島会 川島病院 学術企画室⁵⁾

○佐藤 洋介¹⁾ 土井 裕生¹⁾ 大槻 剛¹⁾ 石田 亜希²⁾ 宍戸 洋²⁾ 菅野 厚博³⁾ 清水 秀和⁴⁾

青木 昇⁴⁾ 金 成泰^{4,5)}

O-16. 血液透析患者における透析条件とイオン化 Mg 率についての検討

川島会川島病院 腎臓内科¹⁾

川島会川島病院 臨床工学部²⁾

○田代 学¹⁾ 田中 悠作²⁾ 道脇 宏行²⁾ 島 久登¹⁾ 井上 朋子¹⁾ 川原 和彦¹⁾ 土井 俊夫¹⁾

岡田 一義¹⁾ 水口 潤¹⁾

17:20 ~ 17:30 閉会の辞

副理事長：川西 秀樹（土谷総合病院）